

屈しない強いまちへ たしたちにできること

今年も残りわずかとなりました。そろそろ大そうじに取り掛かる家庭も増えているのではないのでしょうか。12月は1年を総括し、新しい年への準備をするのによい時季です。でもその前に、いつ起きるか分からない災害への対策は済んでいますか。まだ災害対策をしていない方は、大そうじに取り掛かる前に、すでにしている方は大そうじとあわせて、再度の点検をしましょう。「備えあれば憂いなし」。準備が安心につながります。

●**家具の転倒防止対策**
L字型金具やチェーン、支え棒等を利用し、転倒防止の対策を。また、寝ているときに家具が倒れてこないように配置も工夫しましょう。

●**家の危険を見回り**
・タンスの上に衣装ケース等を置いていませんか
・寝る部屋は安全なスペースを確保していますか
・こんろ等の火気器具の近くに燃えやすいものを置いていませんか
・ブロッカーは、ひびや破損などで強度が弱くなっていますか

●**戸別受信機の点検**
災害時の避難中や避難先

大まかで災害対策も回す

地震に備えた家具の転倒防止対策や配置換えをやらなければならぬと分かっていても、なかなかできないもの。年末の大そうじは、1年に1度家の総点検をするよい機会です。家族で家の中の安全性を見直してみましよう。

●**戸別受信機の点検**
で、町からの情報を知ることができ重要な機器です。戸別受信機の電池交換やアンテナの掃除、音量ツマミの状態を確認しておきましょう。また、災害時には避難用資機材の一つとして、忘れずに持ち出しましょう。



非常用食料の消費期限を確認しましょう

「もしも今、大災害に巻き込まれたら」などと考えたことがありませんか。
暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火など、災害はさまざま。特にわが国は、世界でも有数の地震

国であり、過去にも数々の大地震に見舞われてきました。また現在、東京都や千葉県内の真下で起こる、いわゆる直下型地震などは、すぐに発生してもおかしくはないといわれています。

あなたや家族の身に、今降りかかってきても、全く不思議ではありません。年末の大そうじと来年の準備で慌しい季節ですが、明日の自分を救うかもしれない「災害への対策」は、早急に取り掛

かるべきものではないでしょうか。災害に脅えず、安心して暮らすために。

災害はいつ起きるかわからない

「もしも災害の一日前に戻れたら」

～一日前プロジェクト～

内閣府が「災害を軽減する国民運動」の一環として実施している「一日前プロジェクト」。「災害の一日前に戻れるとしたら、あなたは何をしますか」と地震や水害などの被害に遭われた方々に質問を投げかけました。「タンスがあんなに簡単に倒れてくるなんて思わなかった」、「家族と連絡が取れず、とても不安だった」など生の声は、わたしたちの教訓となるでしょう。

災害対策を考えていない方はぜひアクセスしてみてください。

▶内閣府ホームページ

URL <http://www.bousai.go.jp/km/imp/index.html>

Check わが家の防災チェック

1. <input type="checkbox"/> 地震が発生したら、まず何を するかわかっている	焦らず落ち着いて まずは身の安全が第一。机の下に隠れるなどしましょう。
2. <input type="checkbox"/> 食料などを持ち出せるよう準備している	最低3日分の食料を取り出せる場所に まず、このようなものがあると安心です。 ●食料＝缶詰・乾パン・ビスケット・アルファ化米・非常用スティックパン・保存水 ●その他の必需品＝携帯電話充電器・ビニールひも・紙オムツ・トイレトイペーパー・発電機・着替え・防寒シート・石油ストーブ・灯油・簡易トイレ・ポリタンク（バケツ）・カセットこんろ・カセットガス・かまどセットなど
3. <input type="checkbox"/> 家具の転倒防止対策をしている	対策の有無が生死を分けることも 家具を固定するだけでは安心できません。こんな対策はしていますか。 ・開き戸のついた家具にはストッパーを付け、戸が開いて中のもものが飛び出さないようにする ・ガラス飛散防止フィルムを活用する
4. <input type="checkbox"/> 消火用器具を準備している	火災は初期消火が最重要 初期に消火すれば、被害は最小限になります。消火器具の準備を。 ●消火器具＝消火器・消火用バケツ・消火用水タンク（ポリタンク）・ヘルメット・皮手袋
5. <input type="checkbox"/> 救助用具・救護用品を準備している	家屋の倒壊時に近隣で救出できるように 地震で家屋の下敷きになったとき、近隣で助け合えるよう、できれば救助用具の準備を。また、簡単な救護用品も。 ●救助用具＝バール・はしご・スコップ・ロープ・チェーンソー・おの・大工道具・皮手袋・ハロゲン強カライト・エンジンカッター・ホイッスル ●救護用品＝救急セット・毛布・三角巾・ブルーシート
6. <input type="checkbox"/> 非常時の情報収集の準備をしている	正しい情報を得るには 電気が止まっても使用できるものを準備しましょう。 携帯用テレビ・戸別受信機・携帯ラジオ・乾電池・懐中電灯
7. <input type="checkbox"/> 家族の避難場所・連絡方法を決めている	あらかじめ決めておくと慌てません 地区の避難場所を確認しておきましょう。また、家族の安否を確認するこんな方法もあります。 ●災害時伝言ダイヤル171（NTT） 局番なしの171にかけると、伝言の録音や再生を行えます。 ●災害用伝言板（携帯電話各社）
8. <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練などに参加したことがある	地域の輪を大切に 大規模な災害が発生した直後は、警察や消防などが十分に機能しないことも。地域コミュニティの強さが、救出・消火や避難所生活にとっても重要です。

緊急地震速報

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです

○「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします

○ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります

気象庁地震火山部管理課 ☎03(3212)8341